



三段山山頂から望む十勝岳

令和7年度

管内概要



林野庁 北海道森林管理局
上川南部森林管理署

上川南部森林管理署の概要

当署管内は北海道のほぼ中央に位置しています。石狩山地、夕張山地および日高山脈に接しており、北部に富良野盆地が広がっている山岳地域です。水系は空知川と鶴川に分かれており、それぞれの源流部に位置しています。

管内の国有林は、上富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村の1市2町1村に広がっており、面積は約115千haで、管内市町村の53%を国有林が占めています。

十勝岳、芦別岳、夕張岳などの雄大な山々が多く、優れた自然に恵まれていることから、管内国有林は、大雪山国立公園や富良野芦別道立自然公園に指定されている地域があります。

<管内国有林の管理経営の考え方>

- 1 公益重視の管理経営の一層の推進
 - ・重視すべき機能を5タイプに区分
 - ・天然力を活用した多様な森林づくり
 - ・山地災害対策の強化に向けた取組
 - ・生物多様性の保全
- 2 林業の成長産業化への貢献等
 - ・低コスト造林技術等を積極的に推進
- 3 「国民の森林」としての管理経営



<当署の沿革>

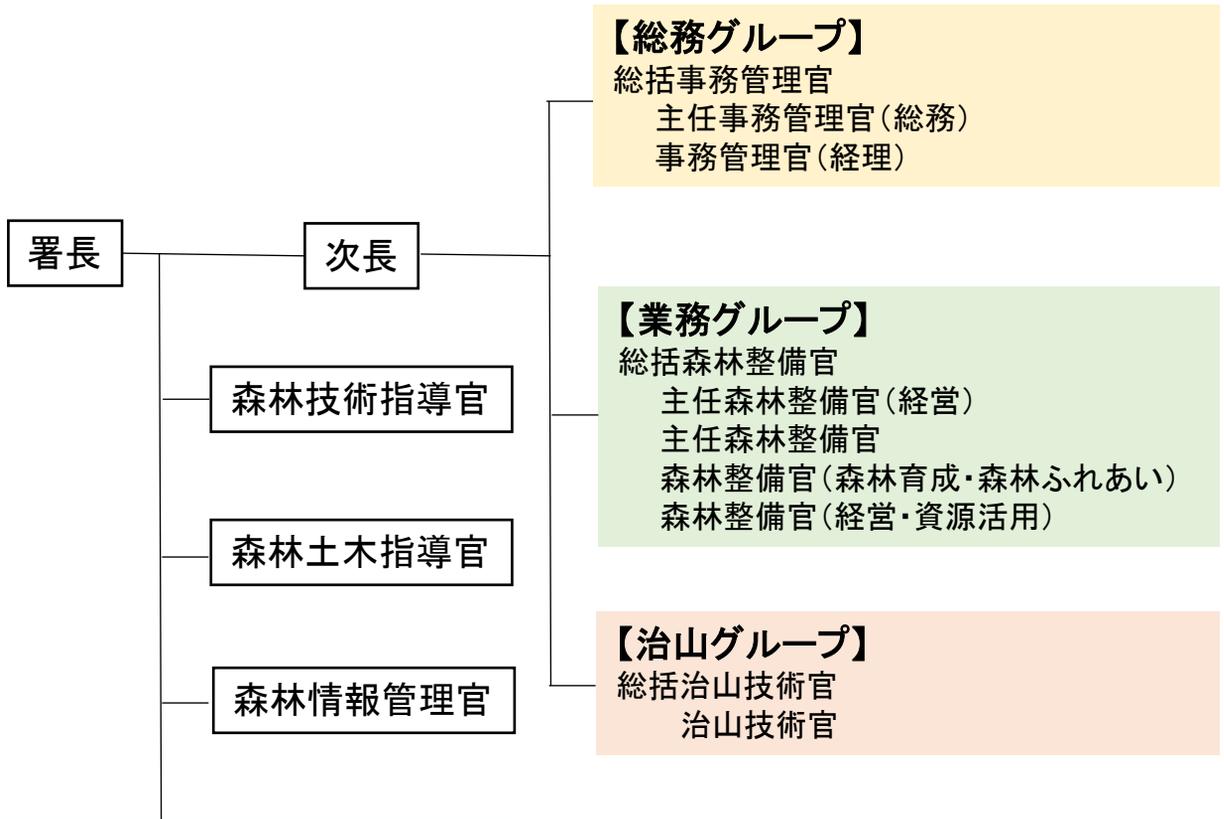
戦前、管内国有林は、御料林と北海道庁所管の国有林に分かれていましたが、戦後、昭和22年の林政統一により、御料林及び道庁所管の国有林がともに農林省に移管され、旭川営林局管轄として幾寅、金山、富良野の3つの営林署が発足しました。

平成11年には組織の抜本的改革により3署が統合され「上川南部森林管理署」が発足し、金山、富良野には森林管理センターが設置されました。

(平成13年に金山、富良野森林管理センター廃止)

平成25年に国有林野事業は一般会計に移行し、現在に至っています。

上川南部森林管理署の組織



【森林事務所】

首席森林官(幾寅、トマム担当区)
 首席森林官(落合、奥落合担当区)
 首席森林官(双珠別、仁々宇担当区)
 首席森林官(富良野、山部担当区)
 森林官(金山担当区)
 森林官(占冠担当区)
 森林官(上富良野担当区)

市町村別管理面積

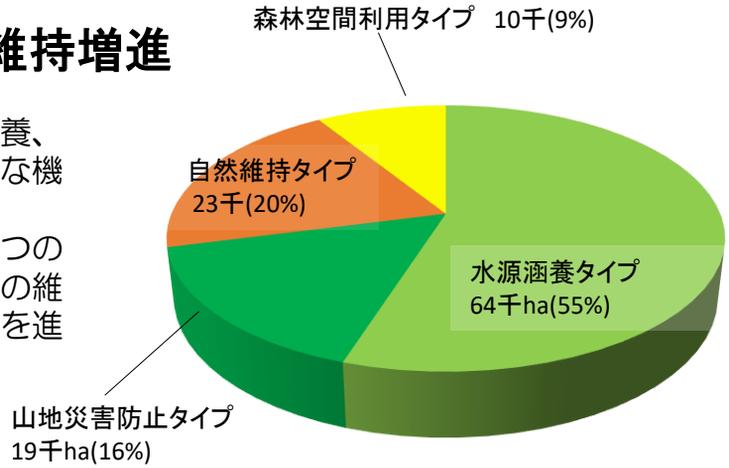
関係市町村	面積(ha)	担当区
南富良野町 48,149ha	6,957	幾寅
	9,368	落合
	14,663	奥落合
	17,094	金山
	68	トマム
占冠村 48,305ha	12,661	占冠
	14,449	双珠別
	11,772	仁々宇
	9,423	富良野
富良野市 14,442ha	4,382	山部
	6,259	上富良野
	3,801	
上富良野町 4,208ha	4,208	
管内計	115,104	

森林の機能を活かす

森林の公益的機能の維持増進

森林には国土の保全、水源の涵養^{びん}、保健・文化、木材生産など多様な機能があります。

これらの機能を踏まえ森林を5つの機能類型に区分し、公益的機能の維持増進に重点を置いた管理経営を進めています。



水源涵養タイプ



自然維持タイプ



山地災害防止タイプ



森林空間利用タイプ

森林を保護する

保護林

保護林は、原始的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、施業および管理技術の発展等に特に資することを目的として区域を定め、禁伐等の管理経営を行うことにより保護を図っている森林です。

また、保護林を「緑の回廊」として相互につないで、生き物の移動経路を確保している森林もあります。



大雪山森林生態系保護地域



夕張岳生物群集保護林



大雪・日高緑の回廊

管内の保護林等の面積

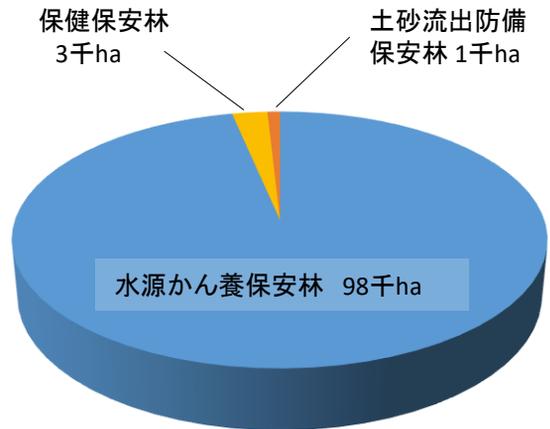
名 称	面積 (ha)
大雪山森林生態系保護地域	9,323
日高山脈森林生態系保護地域	582
夕張岳生物群集保護林	484
希少個体群保護林(4箇所)	1,120
大雪・日高緑の回廊(52km)	5,521

森林により守る

保安林

保安林は、水源の涵養^{かん}、土砂崩壊等の災害の防止、生活環境の保全・形成等特定の公益目的を達成するため指定される森林です。

保安林では、それぞれの目的に沿った森林の機能を確保するため、立木の伐採や土地の形質の変更等が規制されます。



水源かん養保安林

治山事業

治山事業は、森林の維持造成等を通じて山地に起因する災害から国民の生命・財産を保全し、また、水源かん養、生活環境の保全・形成等を図る事業です。

構造物の作設に当たっては、周辺環境や景観に配慮した工法も採用しています。



景観に配慮した治山ダム(富良野)



地すべり地の復旧(占冠)

森林で癒やす

レクリエーションの森

豊かな自然環境を積極的に利用するため、美しい森林や山岳、渓谷、湖沼などの景勝地および野外スポーツに適した森林空間等をレクリエーションの森として選定し、国民の保健・文化・教育的利用に広く提供しています。



富良野スキー場 野外スポーツ地域



石勝高原トマム山スキー場 野外スポーツ地域

管内のレクリエーションの森の面積

名 称	面積 (ha) (所在地)
富良野スキー場 野外スポーツ地域	456 (富良野市)
占冠スキー場 野外スポーツ地域	5 (占冠村)
南富良野スキー場 野外スポーツ地域	10 (南富良野町)
石勝高原トマム山スキー場 野外スポーツ地域	1,623 (占冠村)
赤岩風景林	61 (占冠村)
十勝岳風致探勝林	190 (上富良野町)

森林とふれあう

遊々の森

学校等が森林管理署と協定を締結し、森林内での子どもたちの学習活動を目的に設定しているフィールドです。



フィールドの提供状況

名 称	面積 (ha)
<遊々の森> 自然体感ニニウの森	6.94

令和6年度のトピックス

クリーンラーチコンテナ苗及び複層伐に関する勉強会の実施

10月24日、コンテナ苗を活用することのメリットや国有林における複層伐に関する施業方法について、地域の林業関係者に理解を深めてもらうため、「クリーンラーチコンテナ苗及び複層伐に関する勉強会」を実施しました。

勉強会では、複層伐実施箇所へ行き、大型機械地拵作業を見学しながら、各担当から、伐採、地拵、クリーンラーチコンテナ苗の生長が早く、野鼠に強い点等について説明を行い、参加者にコンテナ苗植付器具（プランティングチューブ・ディンプル）を使って、植付作業を体験してもらいました。

参加者からは、複層伐における区域測量の方法、伐採後の植栽方法、事業の発注方法等の質問がありました。コンテナ苗については、経験が無くてもスムーズに植付作業を行うことができたといった意見や、植付時期や野鼠対策が必要かどうか等の質問があり、複層伐、コンテナ苗ともに関心の高さが伺えました。



民有林における乗車型自走式草刈機を活用した実演会の実施

9月19日、下刈作業の機械化により、効率化・省力化が見込まれることから、乗車型自走式草刈機の操作性や性能について、理解を深めてもらうことを目的に「民有林における乗車型自走式草刈機を活用した実演会」を開催しました。道、市町村、林業関係者等27名が参加し、乗車型自走式草刈機の実演及び試乗体験、国有林の「新しい林業」の取組について説明し、意見交換をしました。参加者からは、「エンジンの大きさの割に登坂能力や横傾斜における適応性は想像以上だった」などの感想や国有林の「新しい林業」の取組を民有林に普及してもらいたい等の意見がありました。

今後も地域に林業作業の省力化に関する技術情報を発信し、効率化・省力化の取組を推進して行きたいと考えています。



令和7年度の主な事業量

区 分		単 位	令和7年度	備 考
販売量	立木販売	m ³	5,400	分収造林、分収育林含む
	製品販売	m ³	33,000	
造 林	更 新	ha	22.43	
	保 育	ha	113.80	下刈、つる切、除伐、根踏
林 道	新 設	m	1,734	内の沢林道新設工事
治山事業		百万円	130	

注1:造林の更新は、新植、改植の植付、天I地拵の合計である。

注2:造林の保育は、下刈、つる切、除伐、除伐2類、根踏、保育間伐(高齢級含む)の合計である。

注3:造林の更新、保育面積には、治山費による実行分を含む。



上川南部森林管理署庁舎
南富良野町所在(平成14年落成)

林野庁 北海道森林管理局

上川南部森林管理署

幾寅・落合・金山森林事務所

〒079-2401

北海道空知郡南富良野町字幾寅

TEL: 0167-52-2772

050-3160-5750

占冠・双珠別森林事務所

〒079-2201

北海道勇払郡占冠村字中央

TEL: 0167-56-2803

富良野森林事務所

〒076-0023

北海道富良野市栄町17-1

TEL: 0167-23-8600

上富良野森林事務所

〒071-0563

北海道空知郡上富良野町緑町1丁目8-3

TEL: 0167-45-2004